

対馬暖流は蛇行しながら北上 対馬暖流の流量は平年の7割程度 今後の沿岸水温はさらに高めで推移

2025年4月10日～19日にかけて実施した日本海定期観測の結果をお知らせします。

対馬暖流は奥尻島の西方から本道に近づき、瀬棚沖を北上した後積丹半島のはるか沖合を流れるルートをとっています(図1c)。

対馬暖流の北上流量は約0.7 Sv (1 Sv= 10^6 m³/s) で平年の7割程度となっています(4月流量の平年値は0.95 Sv)。

50 m深水温は4～9 °Cで、道南の沖合の海域では平年並み、瀬棚以北の海域では平年より約1～2 °C高くなっています(図1a,b)。

4月下旬の余市前浜水温は「年並み」ですが(※1)、向こう1ヶ月の気温の予報は平年よりも高くなる確率が高くなっていますので(※2)、今後、沿岸水温は平年より高くなるかもしれません。

※1 余市前浜水温：<https://www.hro.or.jp/fisheries/research/central/section/kankyou/suion/2025.html>

※2 気象庁HPより1ヶ月予報：<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/?region=010100&term=P1M>



余市前浜水温 気象庁1ヶ月予報

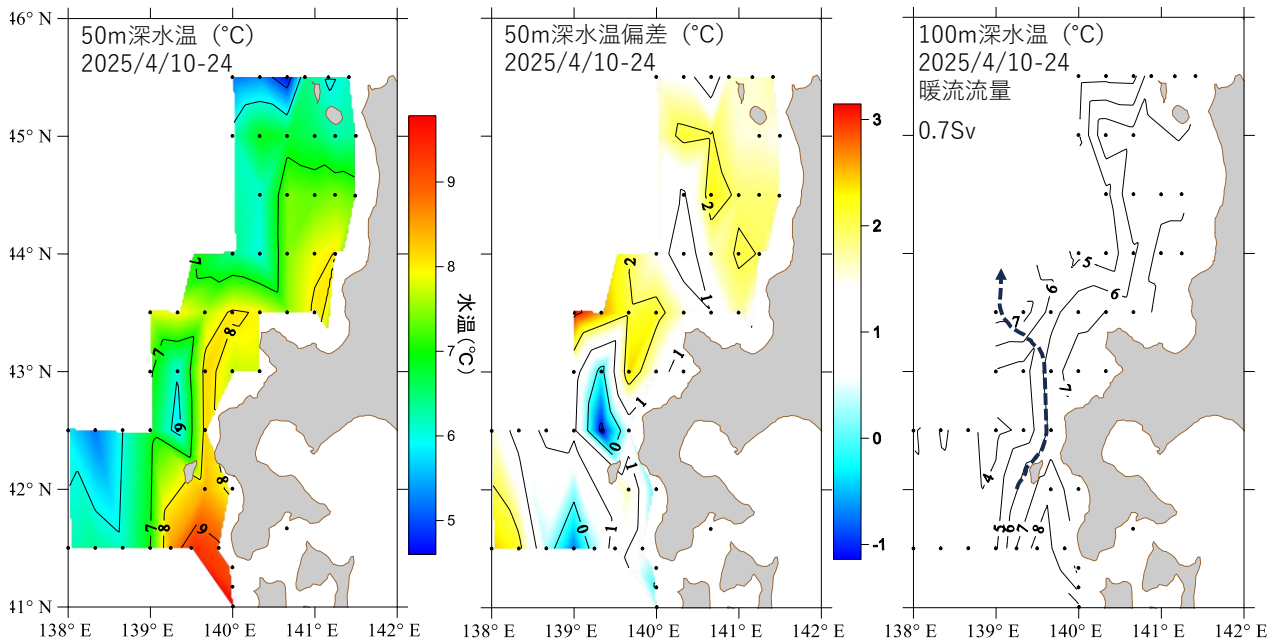


図1 2025年4月中旬における(a) 50m深水温 (b) 50m深水温偏差の水平分布、(c) 100m深水温の水平分布と対馬暖流の流路(矢印)。水温偏差は過去30年(1989年～2018年)の平均値から算出。流量の単位はSv ($=1 \times 10^6$ m³/s)。